

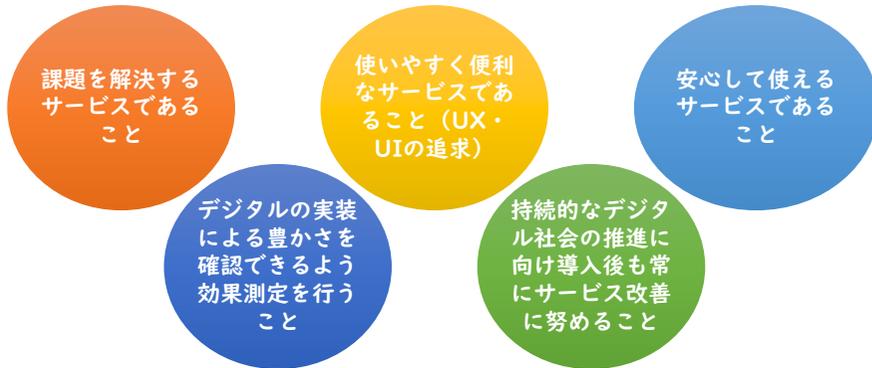
# 津山市デジタル社会の推進に向けた取組方針 個別実行計画 【概要版】

## 1. 背景・目的

本市では、デジタル技術を活用しながら、「新たな日常」への対応を進め、住民が安全で安心して暮らすことができ、豊かさを実感できる社会の推進を図るため、令和3年3月に「津山市デジタル社会の推進に向けた取組方針」を定めています。更なるデジタル社会の推進を図るため、取組方針に基づく具体的な個別実行計画を定めます。

## 2. 個別実行計画の推進に当たっての考え方

個別実行計画の推進に当たっては、単にデジタル・ツールを導入することにとどまらず、本市のさまざまな課題をデジタルの活用によって解決し、将来にわたって「津山に住み続けたい」と感じられる「より良い津山の未来をつくる」ために、次の5つの考え方を基本に置きます。



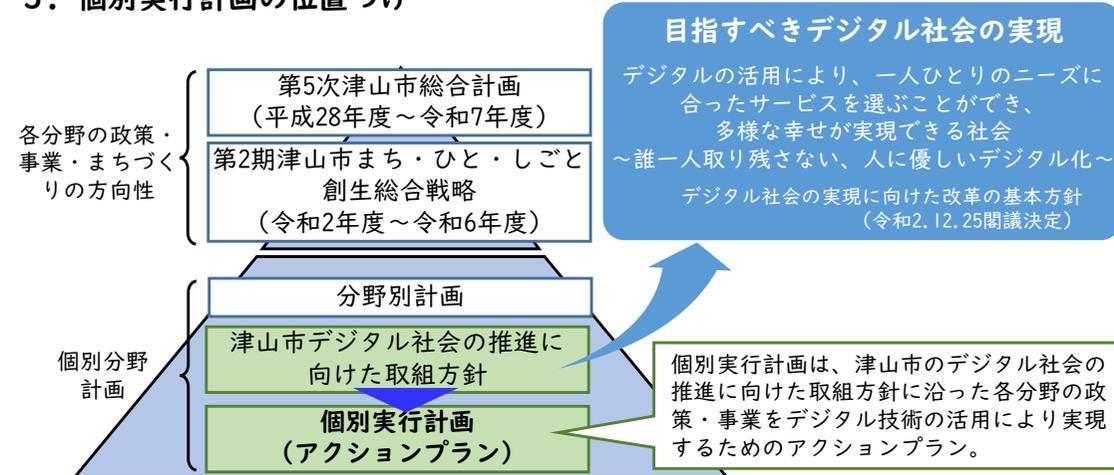
## 3. 津山市デジタル社会の推進に向けた取組方針 (令和3年3月策定)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 住民生活に密接に関わる地域課題の解決 | <ul style="list-style-type: none"> <li>誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化</li> <li>国の行政手続のオンライン化、情報システムの標準化に合わせた業務プロセスの見直し</li> <li>マイナンバーカードの普及</li> <li>地域課題解決のためのデジタル技術活用</li> </ul> |
| 持続可能な地域産業の基盤づくり    | <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の活用による、産業の創出や既存産業の生産性向上</li> <li>地域課題解決を通じた新たなサービスモデルの構築や普及</li> </ul>   |
| 交流人口・関係人口の創出・拡大    | <ul style="list-style-type: none"> <li>多拠点居住やワーケーションの受入地域としての価値の創出や向上</li> <li>感染症対策を考慮した新たな観光スタイルに対応した情報発信やコンテンツの造成</li> </ul>   |
| 未来を支える人材の育成        | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒のデジタルリテラシーの向上やICT機器の活用推進</li> <li>大学や企業と連携して行う、基礎学力定着に向けた読解力育成や先進技術を活用した質の高いオンライン教育等の研究</li> </ul>                             |
| 取組を円滑に進めるための基盤整備   | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信基盤の整備</li> <li>共通データ基盤の研究、オープンデータ化の推進</li> <li>市の組織体制の整備</li> <li>デジタル人材の確保・育成</li> </ul>                                      |

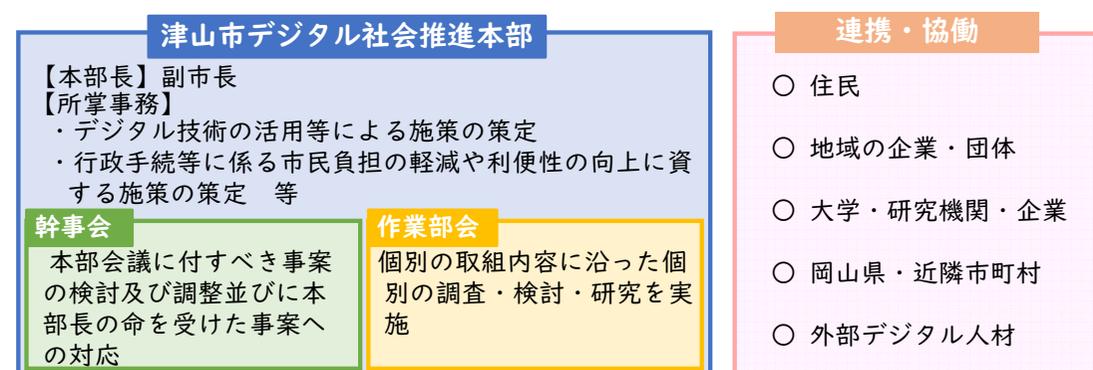
## 4. 工程表

|                    | 令和4年度   | 令和5年度   | 令和6年度   | 令和7年度 |
|--------------------|---|---|---|-------|
| 住民生活に密接に関わる地域課題の解決 | <ul style="list-style-type: none"> <li>母子健康手帳アプリの導入</li> <li>書がない乳幼児予防接種の仕組み導入</li> <li>マイナポータルの導入</li> <li>公共施設予約システムの充実</li> </ul>                      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>シングルサインオンの仕組み導入</li> </ul> |       |
| 持続可能な地域産業の基盤づくり    |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>5Gなど先端技術を活用した課題解決・新技術の応用に向けた実践研究の促進</li> <li>ビッグデータ活用の仕組み導入</li> <li>デジタル人材のマッチング充実</li> </ul> |   |       |
| 交流人口・関係人口の創出・拡大    | <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな観光の検討</li> <li>慶應義塾大学SFC研究所との共同研究の実施</li> <li>具体的な取組の推進</li> </ul>  |   |   |       |
| 未来を支える人材の育成        | <ul style="list-style-type: none"> <li>全小中学校へのAIドリルの導入</li> <li>モデル校データ分析</li> <li>分析実施校の拡充</li> <li>「OECD Education2030」プロジェクトへの参画 (東京学芸大学連携)</li> </ul> |   |   |       |
| 取組を円滑に進めるための基盤整備   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹系システムの標準化・共通化の取組の推進</li> <li>庁内BPRの実施</li> <li>庁内への計画的なICTの導入</li> <li>公共交通へのICカード決済導入</li> </ul>                |   |   |       |

## 5. 個別実行計画の位置づけ



## 6. 推進体制



## 7. 取組方針に基づく個別具体の取組

### 1. 住民生活に密接に関わる地域課題の解決

- ① 誰もが、いつでも簡単に使える分かりやすい行政サービスの実現
  - ◆ オンラインで完結する「行かなくてよい市役所」の実現
  - ◆ 誰もが使いやすく分かりやすい窓口サービスの実現
- ② 住民それぞれの状況に合わせた、より身近できめ細かい情報提供の実現
  - ◆ 個人の状況に合わせたスマートフォンアプリによる情報発信
  - ◆ 誰もが恩恵を受けられるデジタルデバイド対策の推進
- ③ 住民の活力を引き出す取組の推進
  - ◆ 健康寿命の延伸に向けた活動のサポート
  - ◆ 使いやすい公共施設予約システムの整備
  - ◆ いつまでも、いつでも学べる学習環境の整備

### 2. 持続可能な地域産業の基盤づくり

- ① 地域産業におけるデジタル技術の活用による産業活性化・生産性向上・新産業創出
  - ◆ 地域企業の課題解決・技術の応用に向けた実践研究
  - ◆ デジタル技術の活用推進による各産業における所得向上
  - ◆ デジタル人材を地域企業へつなげる体制の充実
- ② 地域の課題解決に資する新たなサービスモデルの創出・普及
  - ◆ 地域課題の解決に向けたシステムの開発・導入
  - ◆ シェアリングファクトリーや地域内サプライチェーンの検討・構築
  - ◆ 地域内循環型経済の推進による消費の活性化

### 3. 交流人口・関係人口の創出・拡大

- ① 地方移住志向の高まりを受けた多拠点居住やワーケーション等の受入地域としての価値の創出・向上
  - ◆ テレワーク施設やサテライトオフィスの利活用
  - ◆ 地域の受入体制づくり
- ② アフター／ウィズコロナ時代を見据えた新たな観光スタイルに対応した情報発信・コンテンツの造成
  - ◆ 先端技術を活用した観光拠点の魅力発信

### 4. 未来を支える人材の育成

- ① 地域の将来を担う子供たちの為のICTを活用した学びの実現
  - ◆ 小中学校のICT環境整備・利活用の推進
  - ◆ 遠隔学習環境を活用した不登校対策や緊急時等での学びの環境整備
- ② 先端技術を活用した質の高い新たな教育研究による10年後を見据えた学校づくり
  - ◆ 地域等と連携したAIやAR/VRなどの先端技術を活用した新たな学びの実証
  - ◆ オンラインを活用した交流学习

### 取組を円滑に進めるための基盤整備

- ① デジタル社会の推進に向けたデジタルインフラの整備
  - ◆ 高速大容量通信環境の整備
  - ◆ 公共交通におけるスマート化の検討
  - ◆ デジタルデータのオープン化・地域における活用推進
- ② デジタル社会を推進する全庁的な体制整備と人材育成
  - ◆ デジタル社会推進に向けた体制強化
  - ◆ デジタル人材の育成・外部人材の登用
- ③ 国の進める自治体DXへの対応と住民生活の向上に向けた職員の働き方改革
  - ◆ 国の進める自治体DXへの対応
  - ◆ 庁内業務のBPRの推進
  - ◆ 庁内の働く環境の整備